

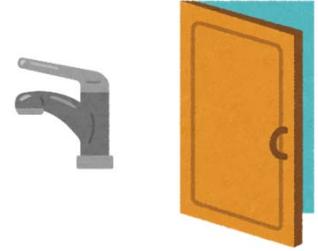
施設内の消毒について

接触感染※を防止するため、施設内においては、手指がよく触れる場所を中心に清潔に保つことが大切です。

※ドアノブ等の表面を介して皮膚に病原体が付着する感染のこと

<手指がよく触れる場所の例>

ドアノブ、ハンドル、手すり、
テーブル、机、椅子、電話機、
洗面台や蛇口、トイレの便座や流水レバー、
エレベーター・オートロック・コピー機等のスイッチ類



手指がよく触れる場所の消毒には、

・消毒用エタノール

じあえんそさん

・次亜塩素酸ナトリウム が有効です。



<消毒の方法>

- ペーパータオル等に十分に薬液を含ませて拭いてください*。
次亜塩素酸ナトリウムの場合は、拭いた後、水拭きしてください。
*濡れている場合には水分を拭き取った後行う。
- △スプレーボトルでの噴霧は、ウイルス飛散の可能性があるため、好ましくありません。

<消毒液の作り方（次亜塩素酸ナトリウムの場合）>

- ・一般的に「塩素系漂白剤」（塩素濃度約5%）として販売されています。
- ・製品の記載濃度をもとに、用途に応じ、薄めて使用してください。

用途	濃度	希釈方法
嘔吐物が付着した床等の処理	0.1%	500mlのペットボトル1本の水に塩素系漂白剤を10ml(ペットボトルのキャップ2杯)入れる。
ドアノブ、手すり等の消毒	0.05%	500mlのペットボトル1本の水に塩素系漂白剤を5ml(ペットボトルのキャップ1杯)入れる。

- ・消毒対象の材質により、使用方法が異なることがありますので、製品に記載された「使用上の注意」をよく読んで使用してください。
- ・手荒れの可能性があるため、直接触れないよう、また、手指の消毒には使用しないでください。